

## 「単組・地協拡大代表者会議」開催!

### 2024 JR総連春闘スローガン

1. 一律賃上げ獲得!すべての要求実現!統一要求・統一闘争で  
全職場・全組合員と共に2024 JR総連春闘をたたかい抜こう!

1. JR総連の旗の下、労働組合の力を発揮し、  
低額相場と労働者間の分断・競争・格差拡大に抗し、  
労働者の団結・連帯・共闘を実現しよう!

10月28日、JR総連は「単組・地協拡大代表者会議」を目黒さつきビル会議室で開催し、多岐にわたる課題について、定期大会以降の成果と教訓を確認するとともに、当面する取り組みと2024 JR総連春闘スローガンを確認しました。

**山口委員長挨拶(要旨)**  
ウクライナ戦争や、パレスチナでの戦闘で、多くの民衆が犠牲になっていく。JR総連は「いかなる戦争にもテロにも反対」という姿勢を貫き、一刻も早い停戦に向けた対話による解決を主張していく。今行動を起こすことが、私たちに問われている。

2024 JR総連春闘について、職場の運動づくりを大事にし、たたかいに組合員が主体的に参加する体制をつくり上げるための議論を深めていこう。

10月1日から改正地域交通法が施行された。JR総連として、今後、再構築協議会への参画、実証事業への政策提言など、運動づくりを強めていきたい。それぞれの地域で新たな仲間を運動づくりに組織化し、地域の交通を守るたたかいをつくり上げていこう。

労働者を取り巻く現状が厳しさを増しつつある、JR総連はすべての組合員と共に団結を強化し、組織拡大・強化を勝ち取っていくようではないか。

**主な発言**  
**2024春闘について**  
23春闘ではベアに職責による格差が持ち込まれた。ベア要求の一律定額による額回答にこだわっていく。期末手当の成績率の見直しが示された。過度な競争になる成果主義型への変更を許さず、たたかいをつくり出していく。

・職場闘争の強化が提起された。全機関・全組合員が参加していく体制と機運を高めていく。他の産別との連帯・共闘にむけた土壌づくりをおこなう。

・JR総連各単組からの多くの激励だけでなく、アドバイス等もいただいたいき、JR総連方針の浸透を図り、交渉経過を組合員に伝え、組合員とともにたたかいをつくり出した。24春闘ではさらなる高みをめざし奮闘する。

**安全確立について**  
事故や事象に対して、隠蔽する会社体質が現れている。安全風土根幹から揺るがしかねない事象や隠ぺい体質を乗り越えるためには、私たちが原因究明委員会や組合員・未加入者との議論によって、対策を立てて実践することである。

・運転士見習いが教導運転士から引つ張られ、バランスを崩して地面に頭を打ち、記憶障害となる事象が発生。団体交渉で詳細と問題を明らかにし、強く是正を求めていく。

**ローカル線維持継続について**  
JR西日本は芸備線一部区間について、再構築協議会の設置を国に要請した。地域との連携づくりを具体的に実践し、地域の声を反映させるために取り組んでいく。

・伯備線の鉄道貨物輸送の存続にむけて、支援の動きが広がっている。貨物列車運行終了から継続の方向性にむかっている。引き続き取り組み。

**平和・人権・民主主義を守るたたかい**  
第三次世界大戦の危機を感じる。ウクライナでは鉄道も攻撃、鉄道労働者も多く犠牲。戦争になれば真先に攻撃対象となることを組合員にも認識してもらい、取り組みを進めていく。

9条連とともに地域からの平和の取り組みを進めていく。

**その他**  
・地域でJR総連運動を進めていくために、地協の重要性はますます高まっている。

・袴田巖さんの完全無罪を勝ち取るための集会を、労働組合として取り組む。

・障がい者や交通弱者の方の声に耳を傾けて取り組みを進めていく。

**熊谷書記長まとめ(要旨)**  
2023 JR総連春闘のたたかいで培った「統一要求・統一闘争」という原則的なたたかいは、2024春闘にも繋げ発展させていかなければならない。横の連帯を強化し、今まで以上に情報共有を密にたたかいに抜いていく。併せて、地域や他産別、他単組との連帯・共闘をつくり出していく。また発言で出された課題に触れた上で、JR総連に加盟する単組・地協・労働者の仲間たちが連帯し、困難を切り拓いていく。

# 9条連・JR総連共催「平和集会」



その後、元文部科学事務次官で「現代教育行政研究会」代表の前川喜平氏より、「新たな戦前に抗し、平和・人権・民主主義を守り抜こう」と題して講演がおこなわれ、その中で「憲法は本来、国家権力を縛るものであり、主権者である国民がしっかりと憲法を学ぶ必要がある」「安倍政権をはじめこの間、自民党政権が進めてきた『集団的自衛権の行使容認』や『敵基地攻撃能力の保有』などは憲法違反である」「日本版軍産複合体がつけられてきているが、軍産複合体は戦争がなければ消滅してしまうので、戦争を引き起こさずとしていく。さらにそこに学問が加わり、軍産学複合体となる危険性があるが、日本学術会議がその動きへの歯止めとなっている」「平和とは軍事均衡でもたらされるものではなく、人間らしい生活を送れる条件が整って、人間と人間とが心を通わせることによって礎が築かれるものである。これは二度の大戦を経てたどり着いた知恵であり、大事にしなくてはならない」と訴えられました。

最後に、まとめとして9条連・齋藤弘敦事務局長より、軍事大国化と同時に、国民監視も進められている。日常にも戦争の足音が近づいている。私たちはその兆候を見逃さず、仲間とともに議論し声を上げていく必要性を訴えられました。今平和集会を機にさらに憲法9条改悪反対！軍事大国化反対！すべての戦争に反対することを、職場と地域から進めていくことを全体で確認し、平和集会は終了しました。

11月7日、JR総連・9条連共催の「平和集会」を目黒さつきビルで開催し、会場とりモートを合わせて〇〇名が参加しました。

主催者を代表して、JR総連・山口浩治執行委員長、9条連・秋山淳子氏は、「今こそ『戦争反対！憲法改悪反対！』の声を上げ、平和運動を通じて仲間を増やしていかなければならない。イスラエルとハマスの一刻も早い停戦を実現するために、社会に訴えていこう」と挨拶されました。

続いて問題提起として、9条連より「関東大震災から100年我々は何を学ぶべきか」「関東大震災と朝鮮人虐殺事件」「現地踏査報告」をおこない、関東大震災では流言飛語により朝鮮人や朝鮮人と間違われた地方出身者、社会主義者などが虐殺された教訓と、東日本大震災でもデマが流され、被災地では86%以上の人が信じたとの調査結果を紹介し、プロパガンダに騙されることなく、真実を見抜いていくことの必要性を訴えました。

## つなごう憲法をいかに未来へ11・3憲法大行動

日本国憲法公布から77年目となる11月3日、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と9条改憲NO！全国市民アクションの主催で「つなごう憲法をいかに未来へ 11・3憲法大行動」が国会正門前で開催され、全国から4,000名が集結し、JR総連から50名の仲間が参加しました。

藤本泰成共同代表は主催者を代表し、ウクライナ侵略、パレスチナでの紛争を止めるため「世界が考えなくてはいけないのは平和主義の具現化だ。報復ではない努力が必要だ」と強調し、「平和憲法を守るためにこれからも皆さんと考え、行動していきたい」と訴えました。その後、各政党議員や有識者が、政府の防衛費増額方針やパレスチナ情勢への対応を批判するとともに、「ミサイル配備ではなく、外交による安全保障を」、「9条改憲を阻止するうえでも次期の選挙は大事だ」などの訴えがされました。

JR総連は、戦争のない平和で安心して暮らせる社会を実現するため、各単組と連携し9条連の仲間とともに、憲法9条を守り抜いたたかひを進めていきます！

# 関東地協「第36回定期総会」



JR総連関東地協は10月26日、東京都内で「第36回定期総会」を開催しました。

主催者を代表して梶田議長は、①東海道線大船駅構内での電柱柱倒壊・衝突事故で駅間に停車した13本の列車の旅客救済の課題について、②川崎運輸区で発生した、運転士見習いの組合員が教導運転士に後ろから引つ張られ転倒した事象などについて挨拶をしました。

続いて来賓のJR総連八幡副委員長からは、①平和・脱原発について、②2024JR総連春闘についてご挨拶をいただき、また関東交通労働協の高島事務局長からは、政策集団としての交通労働協の役割や物流の2024年問題についてご挨拶をいただきました。

質疑では、11名の代議員から発言があり、鉄研からは、組合員との対話を通じて安全で豊かな暮らしをめざしたたかひをJR総連春闘や職場環境改善について、システムからは、対面での活動が制限される中でも活動を止めず、JR総連春闘や制度改善をめざし取り組んできたことについて、JR東海からは年休裁判のたかひについて、JR貨物からは年休裁判のたかひについて、JR貨物の存立基盤の課題や総団結方針について、JR東からは組織拡大の実践や宇都宮運輸区における人格否定の日勤教育について、豊田運輸区における人間破壊の強制転勤について、その他安全問題や要員問題、平和問題などについて発言がされました。

## 【2023年度新三役】

議長	長	梶田	優一	(東)	労	組)
副議長	長	伊藤	一也	(東)	海	労)
副議長	長	塩田	勝利	(鉄)	研	労)
副議長	長	木山	敬太	(システム)	シ	労)
事務局	長	菊地	秀晶	(貨物)	貨	労)

総会では、JR総連に集う仲間の連帯を強化し、全体で組織の強化・拡大を通じて、安全で安心して暮らせる社会の実現と2024JR総連春闘をたかひを確保することを確認しました。



# ドライバーズ共済会「第32回定期総会」



- 代表 工藤 厚 (東労組)  
 代表代行 老松 公司 (北海道労組)  
 代表代行 橋本 晶 (貨物労組)  
 運営委員 田中 勇人 (北海道労組)  
 運営委員 佐藤 潤 (東労組)  
 運営委員 根本 竜太郎 (東労組)  
 運営委員 藪 秀一 (東海労組)  
 運営委員 澤村 直人 (西労組)  
 運営委員 稲川 伸一 (西労組)  
 増田 真澄 (貨物労組)  
 高田 謙太郎 (貨物労組)  
 小田 雄介 (東労組)  
 小林 英幸 (貨物労組)

10月12日、JR総連ドライバーズ共済会は目黒さつきビル会議室において第32回定期総会を開催しました。総会には来賓としてJR総連より八幡副委員長にご出席頂きました。

この一年、私たちは一人でも多くの会員が事故の当事者にならない・させないために、「命と安全」を最優先する企業風土を築くことを仲間と共有すると同時に、献身性を持って共済活動を推進していくことを確認してきました。そして議論を積み重ねてきた「原因究明」を運動として定着・発展させるとともに、真実が語れる職場風土を確立し、自らの仕事に誇りを持ち、各単組が職場から原因究明の取り組みを共有してきました。

同時に、会社より理不尽な処分等で会員が不利益を被った場合の救済の範囲拡大や、各単組の現状に合わせた救済の拡大にも、議論を重ねた上で取り組みを展開してきました。

質疑では8名の仲間から、生産性向上に重点を置き、安全・安心をメッセージに留まってしまうという会社が存在する。職場で声を上げなければ何も変わらない。共済活動を通じて仲間を感じることができたなど、これからもJR総連の方針のもと、ドライバーズ共済会は連帯してこのようとの発言が出されました。

また、責任追及の企業風土と懲罰的日勤教育に反対し、相互扶助の精神で仲間の思いに立ち、健全で公平な救済に尽力することを全体で確認しました。引き続き会員に寄り添い、仲間を実感できるJR総連ドライバーズ共済会を目指していきます。

# OB連絡会「第32回定期総会」



- 【2023年度新役員】
- 会長 奥山光昭 (東労組OB会)  
 副会長 藤原博之 (貨物労組OB会)  
 事務長 森将美 (東労組OB会)  
 幹事 武川隆二 (北海道労組OB会)  
 幹事 福島一三 (東海労組OB会)  
 幹事 土井憲治 (西労組OB会)

10月13日、JR総連OB連絡会は目黒さつきビル会議室において、「2023年度拡大幹事会」を開催しました。

奥山会長は挨拶で「OB連絡会として、現役のたまたかいを共有し、支える取り組みを単組OB会や各地域からつくり出していこう。また今総会で、各単組OB会のたまたかいや課題について報告をいただき、共有を図っていきたい。連合大会に岸田首相が来賓として参加し、あたかも労働者の立場に立ったような発言をしていけるが、これは幻想である。我々の要求はたまたかいより実現するものである。JR総連とともに『平和・人権・民主主義』を守り抜く取り組みを進めていく」と述べました。

続いて来賓として参加したJR総連山口委員長より、取り巻く情勢について触れた上で、平和問題や、ローカル線存続の取り組み、組織の強化・拡大など、JR総連の課題についての提起をいただき、OB連絡会として現役を支えるために課題の共有を図りました。

各単組からは、この間の取り組み報告の他、OB会員の高齢化と会員数の減少の課題などについて出されました。また、新役員体制としてJR西労OB会から土井憲治幹事が新たに加わり、最後に奥山会長の団結ガンパローで拡大幹事会は成功裡に終了しました。

# 5連協秋のレクリエーション

線高尾山口駅に集合し、登山組とケールブルカー組に分かれて、山頂付近にある高尾山薬王院をめざしました。登山組は、心地よい秋の空気と、日ごろの運動不足を感じながら急登を切り切り、1時間ほどで薬王院に到着しました。その後、薬王院大本坊で昼食懇親会をおこない、JR総連・八幡副委員長から挨拶した後、聚楽労働組合長から挨拶した後、聚楽労働組合書記長が「これからも5連協はしっかりとJR総連を支えていこう」と力強く乾杯をおこない、薬王院の美味しい精進料理に舌鼓を打ちました。また、豪華景品が当たるビンゴ大会をおこない、楽しく懇親を深めました。

続いて、薬王院本堂にて「護摩焚き」をおこない、参加者一同で組合員の安全と健康を祈願し、最後に次回レク幹事単組の鉄研労働組合委員長から「今秋レクを通じてさらに深まった絆をもって、年末手当交渉、そして2024JR総連春闘勝利にむけて、ともに頑張っていこう」との挨拶を受け、5連協秋レクは成功裡に終了しました。



10月21日、高尾山にて「5連協秋のレクリエーション」をシステム労働の準備のもと開催し、組合員と家族35名で交流を深めました。

当日は、晴天に恵まれる中、高尾山麓の京王

# 連合「2024春季生活闘争中央討論集会」で発言

10月30日、連合「2024春季生活闘争中央討論集会」が開催され、八幡副委員長が発言しました。



・連合は賃上げ要求について、これまでの「5%程度」から「5%以上」へと表現を強めた。23春闘と24春闘の闘争戦術の違いについて、具体的に教えていただきたい。  
・連合は23春闘の集計結果で、ベアスアップに定期昇給を合わせた平均賃上げ率は3.58%と30年ぶりの高水準となったとしているが、交通運輸産業においては2.5%と全体平均を大きく下回っている。交通運輸産業では、若年層の離職相次ぎ、慢性的な人手不足に陥り、2024春闘における賃上げは必須である。また、4割近くの中小企業では賃上げが実施されていない。2024春闘では、中小企業の賃上げが実現しなければ、全体の底上げにはならない。  
・本来の春闘である統一の要求を掲げ、春闘期間中の統一闘争により、労働組合総体の力を発揮し、賃上げを獲得することが、中小組合への波及につながる。社会的にも、要求の表現を強めた連合の姿勢が注目されている。23春闘を上回る賃上げをみんな実現するために、連合には強い指導性を発揮していきたい。

# 交運労協「第39回定期総会」で発言

10月12日、交運労協「第39回定期総会」が都内に開催され、小林政策・政治部長が発言しました。

小林政策・政治部長の発言(要旨)  
・改正地域活性化再生法が施行された。そもそもローカル線の収益性は望めず、公益性の観点でつくり出されてきた経緯がある。だから、国はJRに移行する際、スキームをつくり、本州三社は、内部補助の仕組みによってローカル線を維持してきた。一時コロナによって赤字に転落した途端、こぞって収益性の論法を持ち出し、ローカル線が経営の負担になっている、だから地域から共に考えようではありませんか」と存廃議論を浮上させたが、あまりにも拙速なやり方。  
・地域公共交通という課題について、JR側からの視点だけではなく、地域の視点、バス労働者の視点、タクシール労働者の視点、物流・観光の視点と、あらゆる方向から課題に向き合っていかなければ、不十分な政策に留まってしまおう。その意味でも、産業界の連帯・連携が必要であるし、再構築協議会について対策・検証する場も必要ではないか。  
・今般の法改正に際し、再構築協議会の構成員には、労働者を含めることと附帯決議に一文を入れてもらった。しかし、どのような手続きを踏めば参画できるのか、はっきりとしたものがない。是非、交運労協でも検討してもらえないか。協議会には、鉄道のみならずバスやタクシーの事業者も含まれることから、地域の声をつかみ、交通運輸産業で働く労働者の声を反映させなければならぬ。  
・北海道新幹線の札幌延伸に伴う函館―長万部間の並行在来線問題について、国と道、JR北海道、JR貨物の4者は貨物路線を維持する方向で一致したと報道があった。この間、運輸労連さんとも本州を結ぶ貨物鉄道輸送の維持については同じ立場で訴えてきた。しかし、貨物路線は維持するものの旅客が運行をやめ、貨物のみという状況になると、JR貨物が現在受けている線路使用料の優遇措置、いわゆるアポイントメントコストルールの概念は成立しなくなる。前例のない協議になるが、これらの課題解決にむけて引き続き交運労協の指導と牽引役をお願いする。

## 袴田さん完全無罪にむけた再審始まる!

袴田巖さんの完全無罪にむけた再審初公判が10月27日、静岡地裁でおこなわれました。袴田さんが不当に逮捕されてから57年の時が流れ、最初の再審申し立てから42年を経て、完全無罪まであと一歩のところまで来ました。

10月29日には、JR東海労主催の「袴田巖さんの早期完全無罪を勝ち取る10・29集会」が浜松市にて開催され、組合員・OB会員、支援団体の仲間とともに、JR総連からは八幡副委員長が参加しました。講演では、西澤美和子弁護士より、この間の裁判闘争の経過、検察が証拠として提出した味噌タンクから発見された衣類の問題点などについて報告されました。最後に、早期の完全無罪判決をかちとるため、袴田さんと連帯して最後までたたかい抜くことを全体で確認しました。

JR総連は、袴田さんの早期完全無罪を勝ち取るために、連帯したたかいます!

「もしも」に備え  
「もしも」を防ぎ  
「もしも」に向き合う。

公式キャラクター  
ピントくん

たすけあいの輪をむすぶ  
**こくみん共済(全労済)**  
coop

【こくみん共済 coop】は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地域を単位とする地域の共済生協の組合員とご一緒に各種共済制度をご利用いただけます。

はたらくあなたの、いちばんそばに。

855さん

SDG 持続可能な開発目標

あなたと家族に安心届けます。保険はおかせください。

各種のお問い合わせは、パソコン・スマホ、から可能ですので、ご利用をお待ちしております。

JR総連・各単組賛助団体

**鉄道ファミリー** 検索

《取扱商品》  
▲自動車保険・火災保険  
▲サークル保険  
▲がん保険・医療保険  
▲介護保険  
▲JR積立年金  
▲すみっこ商店・伊東さつき会館

T141-0031  
東京都品川区西五反田3-2-13 目黒さつきビル  
TEL 03-3490-3862 FAX 03-3491-7198